

# 鳥取県病原微生物検出情報

(令和6年1月検出分；検体採取 令和5年12月～令和6年1月)

令和6年2月16日  
鳥取県衛生環境研究所

## 1 インフルエンザ

臨床診断名がインフルエンザの検体4件（検体採取1月中旬～1月下旬）について検査を実施したところ、インフルエンザA (N1H1) pdm09型が3件、インフルエンザBビクトリア系統が1件検出された。（詳細は表1のとおり）

表1 2023/2024 シーズン鳥取県インフルエンザ検出情報

検体採取時期		検体採取場所	検出数	A型別、B系統別				備考
年	月日			A (H1N1)pdm09型	A H3型	B victoria	B 山形	
2023	9月11日	西部	1	1	0	0	0	
	10月6日	西部	4	0	4	0	0	
	11月6日	西部	3	1	2	0	0	
	11月9日	東部	1	0	1	0	0	
	11月27日	西部	2	0	2	0	0	
	11月24日	東部	1	0	1	0	0	
	12月6日	西部	1	1	0	0	0	
	12月8日	東部	1	0	1	0	0	
	12月18日	西部	2	1	1	0	0	
	12月20日	西部	1	0	1	0	0	
	12月23日	西部	1	0	1	0	0	
2024	1月17日	西部	1	1	0	0	0	今回報告分
	1月19日	西部	1	1	0	0	0	今回報告分
	1月22日	西部	1	1	0	0	0	今回報告分
	1月23日	西部	1	0	0	1	0	今回報告分
病原体定点PCR検査合計 (2023/9/4～現在)			22	7	14	1	0	

全国のインフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては、国立感染症研究所の病原微生物検出情報（2月9日作成）によると、2023/24シーズンはAH3型が最も多く検出されており、次いでA(H1)pdm09型が検出されている。また第1週以降、Bビクトリア系統の検出割合が増加している（図1）

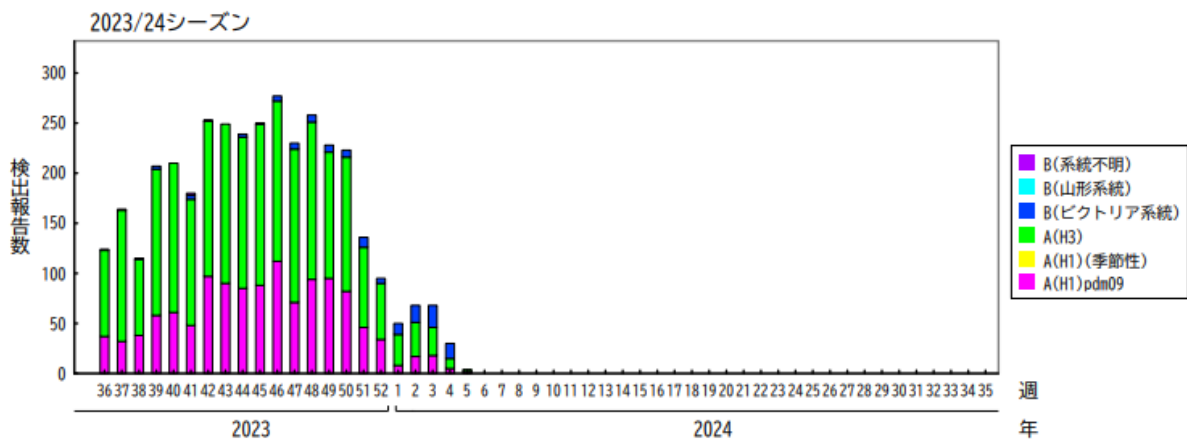


図1 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数 (2023/24シーズン)

出典：国立感染症研究所病原微生物検出情報（2024年2月9日作成）

## 2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の検体4件について検査を行ったところ、サポウイルスが1件（型別不明）、エンテロウイルスが2件（CV-A9型1件、型別不明1件）検出された。（詳細は表2のとおり）

表2 感染性胃腸炎検査状況

検体番号	検体採取時期	ノロウイルス	サポウイルス	A群ロタウイルス	C群ロタウイルス	アデノウイルス	アストロウイルス	エンテロウイルス
230085	12月上旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
230086	12月上旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
230087	12月中旬	(-)	検出 (型別不明)	(-)	(-)	(-)	(-)	検出 (CV-A9型)
230088	12月中旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	検出 (型別不明)
検出計		0件	1件	0件	0件	1件	0件	2件

(-) : 未検出

## 4 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の検体1件（検体採取12月中旬（検体番号230089））について検査を実施したところ、アデノウイルス3型が検出された。

国立感染症研究所の病原微生物検出情報（2月9日作成）によると、2023年における全国の流行性角結膜炎患者から分離・検出されたウイルスについて、アデノウイルス54型が最も多く、次いでアデノウイルス3型が報告されている。（図3）

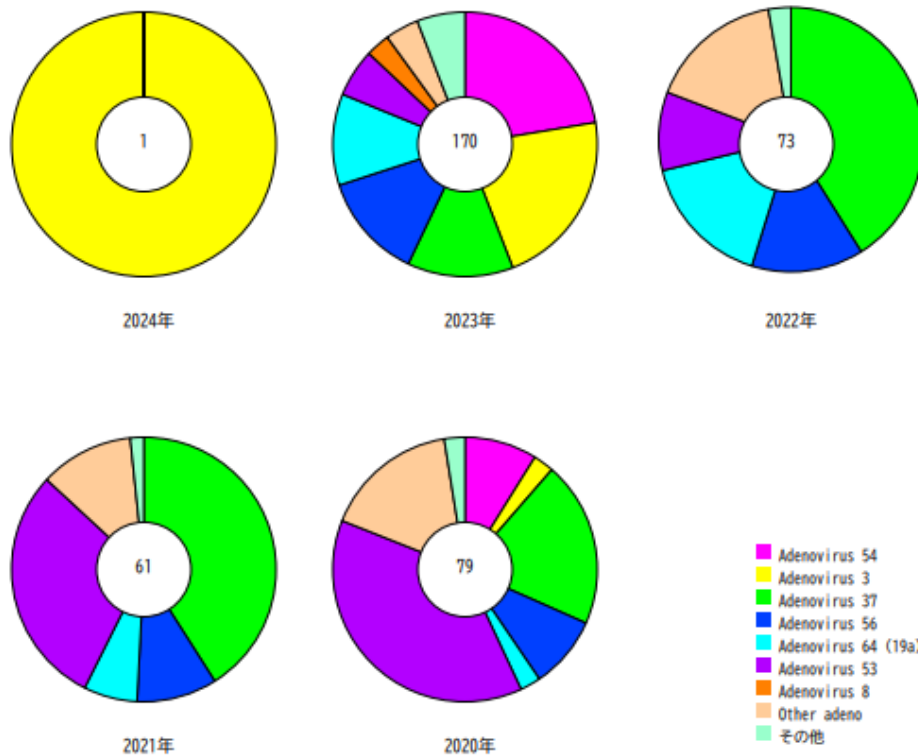


図3 流行性角結膜炎患者から分離・検出されたウイルス（2020年～2024年）

※円グラフの中の数字は年ごとの分離・検出報告の総数を示す

出典：国立感染症研究所病原微生物検出情報（2024年2月9日作成）